

家族
って、

これから大人になる人と大人になりきれない人に贈る、ビタースイート・ストーリー

監督・脚本：今井文寛

カゾクデッサン

水橋研二 瀧内公美 大友一生 中村映里子 大西信満

SHIN 萩原 護 岩崎 愛 ナガセケイ 山田 諭 高野春樹 河屋秀俊 坪内 守 逢坂由委子

プロデューサー：嶋田郁良 比嘉世津子 今井文寛 協力プロデューサー：狩野善則 撮影・編集：中澤正行 照明：福長弘章 録音・整音：白井 聡 美術：佐々木記貴 音楽：斎田純平 助監督：小林尚希
キャスト：富澤沙知 制作担当：鈴木和晶 スタylist：高橋ひやか メイク：村中サチエ 細川昌子 竹川紗矢香 技斗：江澤大樹 企画協力：プレス 製作：株式会社サーキュラー ©[カゾクデッサン]製作委員会

どこまでが家族
ですか？

いろいろな家族、いろいろな想い、いろいろな愛…

愛にふれてみませんか？

日本映画の際立つ才能が交ざり合う

水橋研二 × 瀧内公美 × 大友一生

東京という街でさまよい続ける者たちと、東京の郊外で自分の居場所を定めた者たち。または夜に生きる者たちと、陽の中に生きる者たち。交わらないはずの者たちがある女性の事故から再び顔を合わせる。それぞれの想いが交錯する。初夏の天気の中、東京の下町と郊外で紡がれる物語を潤いある光と影の映像美で描く。

主演は、映画『殺人鬼を飼う女』ほかTV、CM、声優（『秒速5センチメートル』）など幅広く活躍する実力派・水橋研二。その恋人役に『彼女の人生は間違いじゃない』『火口のふたり』など話題作への出演が続く瀧内公美。少年役には『ミスミソウ』ほか注目必至の新たな才能・大友一生。大西信満、中村映里子らが確かな演技で脇を固める。監督・脚本は初長編となる新鋭・今井文寛。日本映画の際立つ才能が交ざり合い描き出す、人生をさまよう全ての人に贈るピタースweet・ストーリー。

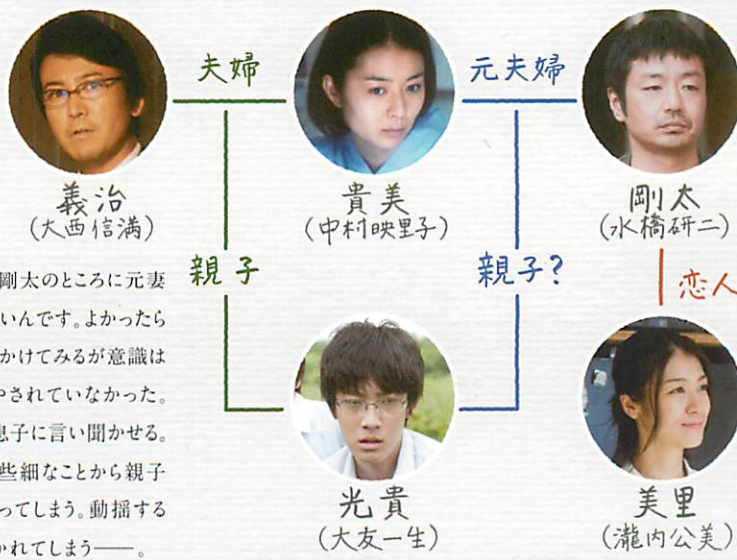


意識をなくした女の

真っ当な夫と、真っ当じゃない元夫、そしてその息子…

ワケあってガチでぶつかり合い——

元ヤクザの剛太。今は恋人のバーで働いている。そんなある日、剛太のところに元妻の息子、光貴が現れる。「母が交通事故にあって意識が戻らないんです。よかつたら声をかけてもらえませんか？」10数年ぶりの再会。剛太は声をかけてみるが意識は戻らない。過去への思いにとらわれる剛太。まだ心の傷は癒やされていなかった。剛太のことをころよく思っていない光貴の父は、二度と会うなど息子に言い聞かせる。しかし光貴は剛太に魅力を感じ始めていた。翌日、光貴と父は些細なことから親子ゲンカ、そのことが引き金となり光貴は自分の出生の秘密を知ってしまう。動揺する光貴はふとしたきっかけから友人を殴り、暴力の魅力に取り憑かれてしまう——。



水橋研二 瀧内公美 大友一生 中村映里子 大西信満 SHIN 萩原護 岩崎愛 ナガセキ 山田諭 高野春樹 河屋秀俊 坪内守 遠坂由美子
 監督・脚本：今井文寛 プロデューサー：嶋田郁良 比嘉世津子 今井文寛 協力プロデューサー：狩野善則 撮影・編集：中澤正行 照明：福長弘章 録音・整音：白井勝 美術：佐々木記貴 音楽：眞田峻平
 助監督：小林尚希 キャスティング：富澤沙知 制作担当：鈴木和晶 スタイリスト：高橋さやか メイク：村中サチエ 細川昌子 竹川紗矢香 技斗：江澤大樹 企画協力：プレス 製作：株式会社マーキエリー
 配給：今井文寛 2019年/日本/98分/カラー/シネマスコープサイズ/DCP ©「カゴタデッサン」製作委員会

2020年3月21日(土)より
 新宿K's cinemaほか全国順次公開
 特別鑑賞券1500円(税込) 初日舞台挨拶ほかトークイベントを予定

新宿K's cinema
 新宿駅東南口階段下
 甲州街道沿道ドコモショップ左入ル
 03(3352)2471 www.ks-cinema.com
 各回入替・整理券制

